

大学番号 私立238

注3

設置年度 令和 元年度
計画の区分： 学部の設置
注1

届出

関西国際大学 国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科
注2

【届出】 設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人濱名山手学院
令和3年5月1日現在

作成担当者	
担当部局（課）名	学長室
職名・氏名	タントカチョウ イシカワ ヒロアキ 担当課長・石川 裕章
電話番号	0794-84-3500
（夜間）	0794-84-3500
e-mail	pres-sec@kuins.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に（ ）書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・大学の設置の場合：「〇〇大学」
・学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
・大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
・大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 大学番号の欄については、調査対象大学等に対して別途発出する、事務連絡「令和3年度の履行状況報告書の提出について(依頼)」の別紙に記載のある大学番号を記載してください。

目次

国際コミュニケーション学部

＜英語コミュニケーション学科＞	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	20
4. 既設大学等の状況	21
5. 教員組織の状況	22
6. 附帯事項等に対する履行状況等	38
7. その他全般的事項	39

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人濱名山手学院

(2) 大学名

関西国際大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒650-0006

兵庫県神戸市中央区諏訪山3番1号

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(ハマナ アツシ) 濱名 篤 (平成18年6月)		
学長	(ハマナ アツシ) 濱名 篤 (平成17年4月)		
学部長	(ワタベ ヨリズミ) 渡邊 頼純 (令和元年4月)		
学科長等	(コヤマ ヤス) 越山 泰子 (令和元年4月)		

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和2年度に報告済の内容 → (2)
令和3年度に報告する内容 → (3)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部等の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
- ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載してください。その場合別ファイルを作成し提出してください。
- ・ 様式は、平成29年度開設の4年制の学科の完成年度を越えて報告する場合(令和2年度までの5年間)ですが、完成年度を越えていない場合は修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が4年以下の場合には欄を削除し、5年以上の場合には、欄を設けてください。)
- ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科 学士(英語学)	文学関係	4年	50人	一年次人	200人		令和3年4月収容定員変更(200→300)

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
- ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
- ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
- ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	対象年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		平均入学定員超過率	開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期			
A 入学定員	人	人	人	人	人	人	人	人	0.96倍	—	
志願者数											
受験者数											
合格者数											
B 入学者数											
入学定員超過率 B/A											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年次で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
- ・ 転入学生は記入しないでください。
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
- ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
- ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から報告年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。計算の際は「入学定員超過率」と同様にしてください。なお、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
- ・ 「開設年度から報告年度までの平均入学定員超過率」は、完成年度を越えて報告書を提出する大学等のみ記入してください。完成年度を越えていない場合は「-」を記入してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

学 年	対象年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次			55 [5] (-)	1 [1] (-)	51 [5] (-)	0 [-] (-)	59 [12] (-)	0 [-] (-)	
2年次					46 [4] (-)	1 [1] (-)	48 [5] (-)	0 [-] (-)	
3年次							45 [5] (-)	1 [1] (-)	
4年次									
計			56 [6] (-)		98 [10] (-)		153 [23] (-)		

・令和3年5月1日 公表

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 - ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
平成29年度	人	人	平成29年度	人	人	
平成30年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
令和元年度	59 人	9 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	9 人	2 人	修学意欲の低下(3人)、進路変更(他教育機関)[1人]、進路変更(就職)(1人)[1人]、経済的困窮(3人)
令和2年度	98 人	4 人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	2 人	0 人	修学意欲の低下(2)
			令和2年度	2 人	0 人	進路変更(就職)(2)
令和3年度	人	人	平成29年度	人	人	
			平成30年度	人	人	
			令和元年度	人	人	
			令和2年度	人	人	
			令和3年度	人	人	
合計		13 人		人	人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) - ⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【平成29年度】

$$\frac{\text{平成29年度の退学者数(a)}}{\text{平成29年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【平成30年度】

$$\frac{\text{平成30年度の退学者数(a)}}{\text{平成30年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{9}{59} = \boxed{15.25} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{4}{98} = \boxed{4.08} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科>

(1) -① 授業科目表

【認可時又は届出時】

【令和3年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	英語基礎1	1春		2		1						
	リーディング1	1春		2				1				
	ライティング1	1春		2			1				1	
	オーラル・コミュニケーション1	1春		2			1					
	英語基礎2	1春・秋		2			1					1
	リーディング2	1春・秋		2			1					1
	ライティング2	1春・秋		2			1					
	オーラル・コミュニケーション2	1春・秋		2			1					1
	英語総合1	1春・秋	2				1					
	リーディング総合1	1春・秋	2				1					
	ライティング総合1	1春・秋	2			1						1
	アドバンス・コミュニケーション1	1春・秋	2				1					
	英語総合2	1春・秋	2									1
	リーディング総合2	1春・秋	2			1						
	ライティング総合2	1春・秋	2								1	
	アドバンス・コミュニケーション2	1春・秋	2				1					
	アカデミック英語	2春		2			1					
	グローバル事情	2春		2			1					
	総合英語 I	1春		2				1				
	総合英語 II	1秋		2				1				
	総合英語 III	2春		2				1				
	総合英語 IV	3春		2				1				
	インテンシブイングリッシュ I	1夏		1				1				
	インテンシブイングリッシュ II	1冬		1				1				
	インテンシブイングリッシュ III	1夏		1				1				
小計(25科目)	-		16	31	0	2	4	1	0	0	3	
基幹科目	異文化理解	1秋	2									1
	経済学基礎	1夏	2									1
	国際関係	2春	2									1
	アジア研究	2春		2			1					
	日本研究	1秋		2								1
	言語と文化	2春		2			1					
	文化人類学	1秋		2			1					
	経営学概論	3秋		4								1
小計(8科目)	-		6	12	0	0	1	0	0	0	5	

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
基礎科目	英語基礎1	1春		2			1						1
	リーディング1	1春		2				1					1
	ライティング1	1春		2									2
	オーラル・コミュニケーション1	1春		2									2
	英語基礎2	1秋		2									2
	リーディング2	1秋		2				1					1
	ライティング2	1秋		2									3
	オーラル・コミュニケーション2	1秋		2									2
	英語総合1	1春	2							1			2
	リーディング総合1	1春	2							1			2
	ライティング総合1	1春	2						1				2
	アドバンス・コミュニケーション1	1春	2							2			3
	英語総合2	1秋	2							1			3
	リーディング総合2	1秋	2										3
	ライティング総合2	1秋	2							2			1
	アドバンス・コミュニケーション2	1秋	2										3
	アカデミック英語	2春		2									1
	グローバル事情	2春		2					1				
	総合英語 I	1春		2							1		
	総合英語 II	1秋		2							1		2
	総合英語 III	2春		2									2
	総合英語 IV	3春		2									1
	インテンシブイングリッシュ I	1夏		1							1		
	インテンシブイングリッシュ II	1夏		1							1		
	インテンシブイングリッシュ III	1冬		1							1		
小計(25科目)	-		16	31	0		4	2	0	0	0	3	
基幹科目	異文化理解	1秋	2										1
	経済学基礎	1秋	2										1
	国際関係	2春	2							1			
	アジア研究	2春		2						1			
	日本研究	1秋		2									1
	言語と文化	2春		2						1			
	文化人類学	1秋		2						1			
	経営学概論	3春		4									1
小計(8科目)	-		6	12	0		1	1	0	0	0	4	

基盤 教育 科目	リベラルアーツ	人間の理解	人間学Ⅱ	1春	2															3		
			教育と人間形成	1秋		2																1
			比較宗教論	1春		2																1
		社会と生活	近現代の歴史	1春		2																1
			社会階層と文化	1秋		2																1
			国際社会と政治	1春		2																1
			日本国憲法	1秋		2																1
		科学と生活	環境と生活	1秋		2																1
			生命と倫理	1秋		2																1
			情報と社会	1春		2																1
		小計(11科目)		-	4	18	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14
		グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ	2夏・冬		1																1
	グローバルスタディⅡ		2夏・冬		2																1	
	グローバルスタディⅢ		2夏・冬		3																1	
	地域研究(北米圏)		4春		2																1	
地域研究(アジア圏)	1秋			2			1													1		
日本事情	1秋			2			1	1												1		
日本文化論	1春			2																1		
小計(7科目)		-	0	14	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
コミュニティスタディ	地域防災減災論	1冬		2																1		
	災害と安全	1冬		2																3		
	ボランティア論	1春		2																1		
	小計(3科目)		-	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	

基盤 教育 科目	リベラルアーツ	人間の理解	人間学Ⅱ	1春	2															3		
			倫理と社会生活	1秋		2																1
			教育と人間形成	1秋		2																1
		比較宗教論	1春		2																1	
		人権と法	1春		2																1	
		社会と生活	近現代の歴史	1春		2																1
			社会階層と文化	1秋		2																1
			国際社会と政治	1春		2																1
			日本国憲法	1秋		2																1
		科学と生活	データサイエンス	1秋		2																1
			環境と生活	1秋		2																1
			生命と倫理	1秋		2																1
	情報と社会	1春		2																1		
	食と健康	1秋		2																1		
	小計(15科目)		-	4	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18	
グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ	2夏・冬		1																1		
	グローバルスタディⅡ	2夏・冬		2																1		
	グローバルスタディⅢ	2夏・冬		3																1		
	グローバルスタディⅣ	2夏・冬		4																1		
	地域研究(北米圏)	1春		2						1										1		
	地域研究(アジア圏)	1秋		2						1										1		
	日本事情	1秋		2								1								1		
日本文化論	1春		2																1			
小計(7科目)		-	0	18	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
コミュニティスタディ	地域防災減災論	1春		2																1		
	災害と安全	1冬		2																1		
	ボランティア論	1冬		2																1		
	小計(3科目)		-	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5	

基 盤 教 育 科 目	特別研究	特別研究Ⅰ	※	1																1	
		特別研究Ⅱ	※	2																	1
		特別研究Ⅲ	※	3																	1
		特別研究Ⅳ	※	4																	1
		小計(4科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	課 題 研 究	課題研究Ⅰ	※	4						1											
		課題研究Ⅱ	※	8						1											
		課題研究Ⅲ	※	12						1											
		課題研究Ⅳ	※	16						1											
		小計(4科目)	-	0	40	0	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(155科目)		-	60	273	26	4	4	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	48	
卒業要件及び履修方法																					
必修科目として専門教育科目「基礎科目」より16単位、「基幹科目」より6単位、「展開科目」より16単位、「総合演習科目」より10単位、基盤教育科目「KUISベーシック」より8単位以上、「リベラルアーツ(人間の理解)」より「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」(各2単位)を4単位、の計60単位以上、選択必修科目として、専門教育科目「基礎科目」4単位以上と「基幹科目」4単位以上と「展開科目」から合計32単位以上、基盤教育科目「リベラルアーツ」(※1)より4単位以上、コミュニティスタディより0単位以上(※2)の計37単位以上を取得した上で、選択科目として専門教育科目と基盤教育科目より29単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。(履修科目の登録の上限:25単位(1学期)) (※1)リベラルアーツ科目群は「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」から各2単位以上取得すること。 (※2)コミュニティスタディは、展開科目のコミュニティスタディ科目群(サービスマーケティングⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ)により1単位以上履修すること。																					

基 盤 教 育 科 目	特別研究	特別研究Ⅰ	1春・秋	1																	1	
		特別研究Ⅱ	※	2							1											1
		特別研究Ⅲ	※	3																		1
		特別研究Ⅳ	※	4																		1
		小計(4科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3
	課 題 研 究	課題研究Ⅰ	※	4										1								
		課題研究Ⅱ	※	8										1								
		課題研究Ⅲ	※	12										1								
		課題研究Ⅳ	※	16										1								
		小計(4科目)	-	0	40	0	0	0	1	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	
合計(169科目)		-	60	303	26	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58		
卒業要件及び履修方法																						
必修科目として専門教育科目「基礎科目」より16単位、「基幹科目」より6単位、「展開科目」より16単位、「総合演習科目」より10単位、基盤教育科目「KUISベーシック」より8単位以上、「リベラルアーツ(人間の理解)」より「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」(各2単位)を4単位、の計60単位以上、選択必修科目として、専門教育科目「基礎科目」4単位以上と「基幹科目」4単位以上と「展開科目」から合計32単位以上、基盤教育科目「リベラルアーツ」(※1)より4単位以上、コミュニティスタディより0単位以上(※2)の計37単位以上を取得した上で、選択科目として専門教育科目と基盤教育科目より29単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。(履修科目の登録の上限:25単位(1学期)) (※1)リベラルアーツ科目群は「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」から各2単位以上取得すること。 (※2)コミュニティスタディは、展開科目のコミュニティスタディ科目群(サービスマーケティングⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ)により1単位以上履修すること。																						

【令和元年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基 礎 科 目	英語基礎1	1春		2			1					
	リーディング1	1春		2								2
	ライティング1	1春		2								1
	オール・コミュニケーション1	1春		2		1						
	英語基礎2	1秋		2			1					
	リーディング2	1秋		2								2
	ライティング2	1秋		2								1
	オール・コミュニケーション2	1秋		2		1						
	英語総合1	1春	2				1					
	リーディング総合1	1春	2				1					
	ライティング総合1	1春	2			1	1					
	アドバンス・コミュニケーション1	1春	2				1					
	英語総合2	1秋	2				1					
	リーディング総合2	1秋	2				1					
	ライティング総合2	1秋	2			1	1					
	アドバンス・コミュニケーション2	1秋	2				1					
	アカデミック英語	2春		2		1						
	グローバル事情	2春		2		1						
	総合英語Ⅰ	1春		2			1					
	総合英語Ⅱ	1秋		2			1					
	総合英語Ⅲ	2春		2			1					
	総合英語Ⅳ	3春		2			1					
	インテンシブイングリッシュⅠ	1夏		1			1					
	インテンシブイングリッシュⅡ	1夏		1			1					
	インテンシブイングリッシュⅢ	1冬		1			1					
小計(25科目)	-	16	31	0	4	2	0	0	0	0	3	

【令和2年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼担	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基 礎 科 目	英語基礎1	1春		2			1					
	リーディング1	1春		2								1
	ライティング1	1春		2								1
	オール・コミュニケーション1	1春		2		1						1
	英語基礎2	1秋		2			1					1
	リーディング2	1秋		2								2
	ライティング2	1秋		2								1
	オール・コミュニケーション2	1秋		2		1						1
	英語総合1	1春	2				1					
	リーディング総合1	1春	2				1					
	ライティング総合1	1春	2			1	1					
	アドバンス・コミュニケーション1	1春	2				1					1
	英語総合2	1秋	2				1					
	リーディング総合2	1秋	2				1					
	ライティング総合2	1秋	2			1	1					
	アドバンス・コミュニケーション2	1秋	2				1					
	アカデミック英語	2春		2		1						
	グローバル事情	2春		2		1						
	総合英語Ⅰ	1春		2			1					
	総合英語Ⅱ	1秋		2			1					
	総合英語Ⅲ	2春		2			1					
	総合英語Ⅳ	3春		2			1					
	インテンシブイングリッシュⅠ	1夏		1			1					
	インテンシブイングリッシュⅡ	1夏		1			1					
	インテンシブイングリッシュⅢ	1冬		1			1					
小計(25科目)	-	16	31	0	4	2	0	0	0	0	3	

基 幹 科 目	異文化理解	1秋	2							1
	経済学基礎	1秋	2							1
	国際関係	2春	2		1					
	アジア研究	2春		2		1				
	日本研究	1秋		2						1
	言語と文化	2春		2		1				
	文化人類学	1秋		2		1				
	経営学概論	3秋		4						1
	小計(8科目)	-	6	12	0	1	1	0	0	0
展 開 科 目	課題研究(グローバルリサーチ)	2秋	16			2				
	日本のポップカルチャー	2春		2			1			
	日本文学	2春		2						1
	経済学概論	3春		4						1
	国際経済論	3秋		2						1
	マーケティング	3春		4						1
	アジアマーケティング論	3秋		2						1
	ファイナンス	3秋		4						1
	ビジネス統計学	2春		4						1
	国際通商法	3秋		2		1				
	国際経営論	4春		2						1
	インバウンドツーリズム産業論	3秋		2						1
	実践ビジネス英語Ⅰ	3春		2						1
	実践ビジネス英語Ⅱ	3秋		2						1
	ビジネスプレゼンテーション	2春		2						1
	ホスピタリティマネジメント	3秋		4						1
	ビジネスマナー	3春		2						1
	航空実務	3春		4						1
	ホテル実務	2春		4						1
	ツーリズム事情Ⅰ	3春		2						1
	ツーリズム事情Ⅱ	3秋		2						1
	ツアーガイド実務	3秋		4						1
	通訳入門	2春		2						1
	社会学概論	1春		2						1
	サービスラーニングⅠ	1春～秋		2		1				
	サービスラーニングⅡ	2春		2		1				
	インターンシップⅠ	1夏・冬		1		2				
	インターンシップⅡ	1夏・冬		2		2				
	インターンシップⅢ	1夏・冬		4		1				
	言語学概論	2春		2		1				
	日本語の構造Ⅰ	1春		2			1			
	日本語の構造Ⅱ	1秋		2			1			
	日本語教育事情	2春		2			1			
	日本語コミュニケーション	2春		2		1				
	日本語教授法	3春		2		1				
	日本語教育の実践と評価	3秋		2		1				
	英語音声学	3秋		2		1				
	英語学Ⅰ	1春		2		1				
	英語学Ⅱ	1秋		2		1				
	英米文学概論	2夏		2						1
	英語科教育法Ⅰ	2春		2		1				
英語科教育法Ⅱ	3春		2		1					
英語科教育法Ⅲ	3秋		2		1					
英語科教育法Ⅳ	3冬		2		1					
教育学概論	1秋		2						1	
教職概論	2春			2					1	
教育社会学	2春		2						1	
学校経営論	2春		2						1	
教育制度論	3秋		2						1	
教育心理学	2秋		2						1	
発達心理学	1秋		2						1	
特別支援教育基礎	2夏			1					1	
教育課程論	3秋			2					1	
道德教育の指導法	2冬			2					1	

基 幹 科 目	異文化理解	1秋	2							1
	経済学基礎	1秋	2							1
	国際関係	2春	2			1				
	アジア研究	2春		2			1			
	日本研究	1秋		2						1
	言語と文化	2春		2			1			
	文化人類学	1秋		2			1			
	経営学概論	3春		4						1
	小計(8科目)	-	6	12	0	1	1	0	0	0
展 開 科 目	課題研究(グローバルリサーチ)	2秋	16			2				
	日本のポップカルチャー	2春		2			1			
	日本文学	2春		2						1
	経済学概論	3春		4						1
	国際経済論	3秋		2						1
	マーケティング	3春		4						1
	アジアマーケティング論	3秋		2						1
	ファイナンス	3秋		4						1
	ビジネス統計学	2春		4						1
	国際通商法	3秋		2		1				
	国際経営論	4春		2						1
	インバウンドツーリズム産業論	3秋		2						1
	実践ビジネス英語Ⅰ	3春		2						1
	実践ビジネス英語Ⅱ	3秋		2						1
	ビジネスプレゼンテーション	2春		2						1
	ホスピタリティマネジメント	3秋		4						1
	ビジネスマナー	3春		2						1
	航空実務	3春		4						1
	ホテル実務	2春		4						1
	ツーリズム事情Ⅰ(未開講)	3春		2						1
	ツーリズム事情Ⅱ	3秋		2						1
	ツアーガイド実務	3秋		4						1
	通訳入門	2春		2						1
	社会学概論	1春		2						1
	サービスマナーⅠ	1春～秋		2			1			
	サービスマナーⅡ	2春		2			1			
	インターンシップⅠ	1夏・冬		1		2				
	インターンシップⅡ	1夏・冬		2		2				
	インターンシップⅢ	1夏・冬		4		1				
	言語学概論	2春		2			1			
	日本語の構造Ⅰ	1春		2				1		
	日本語の構造Ⅱ	1秋		2				1		
	日本語教育事情	2春		2				1		
	日本語コミュニケーション	3秋		2				1		
	日本語教授法	3春		2				1		
	日本語教育の実践と評価	3秋		2				1		
	英語音声学	3秋		2				1		
	英語学Ⅰ	1春		2				1		
	英語学Ⅱ	1秋		2				1		
	英米文学概論	2夏		2						1
	英語科教育法Ⅰ	2春		2				1		
英語科教育法Ⅱ	3春		2				1			
英語科教育法Ⅲ	3秋		2				1			
英語科教育法Ⅳ	3冬		2				1			
教育学概論	1春		2						1	
教職概論	2春			2					1	
教育社会学	2春		2						1	
学校経営論	2春		2						1	
教育制度論	3秋		2						1	
教育心理学	3秋		2						1	
発達心理学	1秋		2						1	
特別支援教育基礎	2夏			1					1	
教育課程論	3秋			2					1	
道德教育の指導法	2冬			2					1	

基盤教育科目	リベラルアーツ	人間の理解	倫理と社会生活	1秋	2															1		
			教育と人間形成	1秋	2																1	
			比較宗教論	1春	2																1	
			人権と法	1春	2																1	
		社会と生活	近現代の歴史	1秋	2																	1
			社会階層と文化	1秋	2																	1
			国際社会と政治	1春	2																	1
			日本国憲法	1秋	2																	1
		科学と生活	データサイエンス	1秋	2																	1
			環境と生活	1秋	2																	1
			生命と倫理	1秋	2																	1
			情報と社会	1春	2																	1
			食と健康	1秋	2																	1
		小計(15科目)		-	4	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
		グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ	2夏・冬	1																	1
グローバルスタディⅡ	2夏・冬		2																	1		
グローバルスタディⅢ	2夏・冬		3																	1		
地域研究(北米圏)	4春		2																	1		
地域研究(アジア圏)	1秋		2																	1		
日本事情	1秋		2				1													1		
日本文化論	1春		2																	1		
小計(7科目)	-		0	14	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4		
ユニティスタ	地域防災減災論	1冬	2																	1		
	災害と安全	1冬	2																	3		
	ボランティア論	1春	2																	1		
	小計(3科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5		
特別研究	特別研究Ⅰ	1春・秋	1																	1		
	特別研究Ⅱ	※	2																	1		
	特別研究Ⅲ	※	3																	1		
	特別研究Ⅳ	※	4																	1		
	小計(4科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
課題研究	課題研究Ⅰ	※	4				1															
	課題研究Ⅱ	※	8				1															
	課題研究Ⅲ	※	12				1															
	課題研究Ⅳ	※	16				1															
	小計(4科目)	-	0	40	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計(166科目)		-	60	297	26	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58		
卒業要件及び履修方法																						
必修科目として専門教育科目「基礎科目」より16単位、「基幹科目」より6単位、「展開科目」より16単位、「総合演習科目」より10単位、基盤教育科目「KUISベーシック」より8単位以上、「リベラルアーツ(人間の理解)」より「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」(各2単位)を4単位、の計60単位以上、選択必修科目として、専門教育科目「基礎科目」4単位以上と「基幹科目」4単位以上と「展開科目」から合計32単位以上、基盤教育科目「リベラルアーツ」(※1)より4単位以上、コミュニティスタディより0単位以上(※2)の計37単位以上を取得した上で、選択科目として専門教育科目と基盤教育科目より29単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。(履修科目の登録の上限:25単位(1学期)) (※1)リベラルアーツ科目群は「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」から各2単位以上取得すること。 (※2)コミュニティスタディは、展開科目のコミュニティスタディ科目群(サービラーニングⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ)により1単位以上履修すること。																						

基盤教育科目	リベラルアーツ	人間の理解	人間学Ⅰ	1秋	2															3		
			人間学Ⅱ	1春	2																3	
			倫理と社会生活	1秋	2																1	
			教育と人間形成	1秋	2																1	
			比較宗教論	1春	2																1	
		社会と生活	人権と法	1春	2																	1
			近現代の歴史	1春	2																	1
			社会階層と文化	1秋	2																	1
			国際社会と政治	1春	2																	1
		科学と生活	データサイエンス	1秋	2																	1
			環境と生活	1秋	2																	1
			生命と倫理	1秋	2																	1
			情報と社会	1春	2																	1
			食と健康	1秋	2																	1
		小計(15科目)		-	4	26	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	18
グローバルスタディ	グローバルスタディⅠ	2夏・冬	1																	1		
	グローバルスタディⅡ	2夏・冬	2																	1		
	グローバルスタディⅢ	2夏・冬	3																	1		
	グローバルスタディⅣ	2夏・冬	4																	1		
	地域研究(北米圏)	4春	2																	1		
	地域研究(アジア圏)	1秋	2																	1		
	日本事情	1秋	2																	1		
	日本文化論	1春	2																	1		
小計(7科目)	-	0	18	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	4			
ユニティスタ	地域防災減災論	1春	2																	1		
	災害と安全	1冬	2																	3		
	ボランティア論	1秋	2																	1		
	小計(3科目)	-	0	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	5		
特別研究	特別研究Ⅰ	1春・秋	1																	1		
	特別研究Ⅱ	※	2																	1		
	特別研究Ⅲ	※	3																	1		
	特別研究Ⅳ	※	4																	1		
	小計(4科目)	-	0	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	3		
課題研究	課題研究Ⅰ	※	4																			
	課題研究Ⅱ	※	8																			
	課題研究Ⅲ	※	12																			
	課題研究Ⅳ	※	16																			
	小計(4科目)	-	0	40	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
合計(169科目)		-	60	303	26	6	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	58		
卒業要件及び履修方法																						
必修科目として専門教育科目「基礎科目」より16単位、「基幹科目」より6単位、「展開科目」より16単位、「総合演習科目」より10単位、基盤教育科目「KUISベーシック」より8単位以上、「リベラルアーツ(人間の理解)」より「人間学Ⅰ」「人間学Ⅱ」(各2単位)を4単位、の計60単位以上、選択必修科目として、専門教育科目「基礎科目」4単位以上と「基幹科目」4単位以上と「展開科目」から合計32単位以上、基盤教育科目「リベラルアーツ」(※1)より4単位以上、コミュニティスタディより0単位以上(※2)の計37単位以上を取得した上で、選択科目として専門教育科目と基盤教育科目より29単位以上を別に修得し、卒業要件である126単位を満たすこと。(履修科目の登録の上限:25単位(1学期)) (※1)リベラルアーツ科目群は「人間の理解」「社会と生活」「科学と生活」から各2単位以上取得すること。 (※2)コミュニティスタディは、展開科目のコミュニティスタディ科目群(サービラーニングⅠ・Ⅱ、インターンシップⅠ・Ⅱ・Ⅲ)により1単位以上履修すること。																						

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は**太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和元年度開設であれば平成30年度)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・ 教員組織調整のため、「基礎英語1」の専任教員の配置を「教授1」から「准教授1」に変更。
 - ・ 教員組織調整および教育効果を高めるため、「リーディング1」の教員配置を専任教員「講師1」から「兼任2」に変更。
 - ・ 教育効果を高めるため、「オーラル・コミュニケーション1」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・ 教育効果を高めるため、「マーケティング」の配当時期を「1秋」から「1春」に変更。
 - ・ 教育効果を高めるため、「ファイナンス」の専任教員の配置を「教授1」から「教授1」「准教授1」に変更。
 - ・ カリキュラムの一部見直しのため、「英語基礎2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更。
 - ・ カリキュラムの一部見直しと教員組織調整のため、「リーディング2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、教員配置を専任教員「准教授1」と「兼任1」から「兼任2」に変更。
 - ・ カリキュラムの一部見直しと教員組織調整のため、「ライティング2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、教員配置を専任教員「准教授1」から「兼任1」に変更。
 - ・ カリキュラムの一部見直しと教員組織調整のため、「オーラル・コミュニケーション2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、教員配置を専任教員「准教授1」と「兼任1」から専任教員「教授1」に変更。
 - ・ カリキュラムの一部見直しのため、「英語総合1」の配当時期を「1春・秋」から「1春」に変更。
 - ・ カリキュラムの一部見直しのため、「リーディング総合1」の配当時期を「1春・秋」から「1春」に変更。
-
- ・ カリキュラムの一部見直しのため、「ライティング総合1」の配当時期を「1春・秋」から「1春」に変更し、教育効果を高めるため、教員配置を専任教員「教授1」と「兼任1」から専任教員「教授1」「准教授1」に変更。
 - ・ カリキュラムの一部見直しのため、「アドバンスト・コミュニケーション1」の配当時期を「1春・秋」から「1春」に変更。
 - ・ カリキュラムの一部見直しのため、「英語総合2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、教育効果を高めるため、教員配置を「兼任1」から専任教員「准教授1」に変更。
 - ・ カリキュラムの一部見直しのため、「リーディング総合2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、着任予定教員退職による調整のため、教員配置を専任教員「教授1」から「准教授1」に変更。
 - ・ カリキュラムの一部見直しのため、「ライティング総合2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、教育効果を高めるため、教員配置を「兼任1」から専任教員「教授1」「准教授1」に変更。
 - ・ カリキュラムの一部見直しのため、「アドバンスト・コミュニケーション2」の配当時期を「1春・秋」から「1秋」に変更し、着任予定教員退職による調整のため、教員配置を専任教員「教授1」から「准教授1」に変更。
-
- ・ カリキュラムの調整のため、「インテンシブイングリッシュⅡ」の配当時期を「1冬」から「1夏」に変更。
 - ・ カリキュラムの調整のため、「インテンシブイングリッシュⅢ」の配当時期を「1夏」から「1冬」に変更。
 - ・ カリキュラムの調整のため、「経済学基礎」の配当時期を「1夏」から「1秋」に変更。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、「国際関係」の教員配置を「兼任1」から専任教員の「教授1」に変更。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、展開科目に「国際経済論」を追加し、「兼任1」を配置。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、展開科目に「アジアマーケティング論」を追加し、「兼任1」を配置。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、展開科目に「ビジネス統計学」を追加し、「兼任1」を配置。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、展開科目に「国際通商法」を追加し、専任教員「教授1」を配置。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、展開科目に「国際経営論」を追加し、「兼任1」を配置。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、展開科目に「インバウンドツーリズム産業論」を追加し、「兼任1」を配置。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、展開科目に「社会学概論」を追加し、「兼任1」を配置。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、「インターンシップⅠ」の開講数を増やし、「1夏」から「1夏・冬」に変更。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、「インターンシップⅡ」の開講数を増やし、「1夏」から「1夏・冬」に変更。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、「インターンシップⅢ」の開講数を増やし、「1夏」から「1夏・冬」に変更。
-
- ・ 教育内容の充実を図るため、「言語学概論」の専任教員の配置を「准教授1」から「教授1」に変更。
 - ・ カリキュラムの調整のため、「教育学概論」の配当時期を「1春」から「1秋」に変更。
 - ・ カリキュラムの調整のため、「教育心理学」の配当時期を「2春」から「2秋」に変更。
 - ・ カリキュラムの調整のため、「発達心理学」の配当時期を「1春」から「1秋」に変更。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、「専門演習Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、「専門演習Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」「准教授2」から「教授2」「准教授1」に変更。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、「専門演習Ⅲ」の専任教員の配置を「教授2」「准教授1」から「教授2」「准教授2」に変更。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、「卒業研究」の専任教員の配置を「教授2」「准教授1」から「教授2」「准教授2」に変更。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、「評価と実践Ⅰ」の専任教員の配置を「教授2」から「教授5」「准教授1」に変更。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、「評価と実践Ⅱ」の専任教員の配置を「教授1」「准教授1」から「教授2」「准教授3」に変更。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、「初年次セミナー」の専任教員の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、「基礎演習」の専任教員の配置を「教授2」から「教授3」に変更。
 - ・ 教育内容の充実を図るため、「学習技術」の専任教員の配置を「講師1」から「教授2」に変更。
 - ・ カリキュラムの調整のため、「リサーチ入門」の配当時期を「1夏」から「1冬」に変更。

- ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅰ」の配当時期を「1春」から「1春・秋」の2回開講に変更。
 - ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅱ」の配当時期を「1秋」から「1春・秋」の2回開講に変更。
 - ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅲ」の配当時期を「1春」から「1春・秋」の2回開講に変更。
 - ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅳ」の配当時期を「1秋」から「1春・秋」の2回開講に変更。
 - ・教育効果を高めるため、「日本語Ⅴ」の配当時期を「1春」から「1春・秋」の2回開講に変更。カリキュラムの調整に伴い教員配置を専任教員「准教授1」から「兼任1」に変更。
 - ・カリキュラムの一部見直しのため、「アカデミック日本語Ⅰ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
 - ・カリキュラムの一部見直しのため、「アカデミック日本語Ⅱ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
 - ・カリキュラムの一部見直しのため、「日本語ライティングⅠ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
 - ・カリキュラムの一部見直しのため、「日本語ライティングⅡ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
 - ・カリキュラムの一部見直しのため、「ビジネス日本語Ⅰ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
 - ・カリキュラムの一部見直しのため、「ビジネス日本語Ⅱ」の配当時期を「1春」から「2春」に変更。
 - ・カリキュラムの一部見直しのため、「専門日本語Ⅰ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
 - ・カリキュラムの一部見直しのため、「専門日本語Ⅱ」の配当時期を「1秋」から「2秋」に変更。
-
- ・教育内容の充実を図るため、「ICTリテラシー」の専任教員の配置を「講師1」から「准教授1」に変更。
 - ・教育内容の充実を図るため、「倫理と社会生活」を追加し、「兼任1」を配置。
 - ・教育内容の充実を図るため、「人権と法」を追加し、「兼任1」を配置。
 - ・カリキュラムの調整のため、「近現代の歴史」の配当時期を「1春」から「1秋」に変更。
 - ・教育内容の充実を図るため、「データサイエンス」を追加し、「兼任1」を配置。
 - ・教育内容の充実を図るため、「食と健康」を追加し、「兼任1」を配置。
 - ・教員組織調整のため、「地域研究(アジア圏)」の教員配置を専任教員「准教授1」から「兼任1」に変更。
 - ・教員組織調整のため、「日本事情」の教員配置を専任教員「教授1」「准教授1」から「准教授1」に変更。
 - ・教育内容の充実を図るため、「特別研究Ⅰ」を「1春・秋」の2回開講に変更。

【令和2年度】

- ・教育効果を高めるため、「経営学概論」の配当時期を「3秋」から「3春」に変更
- ・教育効果を高めるため、「日本語コミュニケーション」を「2春」から「3秋」に変更
- ・教育効果を高めるため、「教育学概論」を「1秋」から「1春」に変更
- ・教育効果を高めるため、「教育心理学」を「2秋」から「3秋」に変更
- ・教育効果を高めるため、「教育方法論」を「2秋」から「3秋」に変更
- ・教育効果を高めるため、「教育実習Ⅰ」を「3秋～4春」から「3夏～4春」に変更
- ・教育効果を高めるため、「教育実習Ⅱ」を「3秋～4春」から「3夏～4春」に変更
- ・教育効果を高めるため、「地域防災減殺論」を「1冬」から「1春」に変更
- ・教育効果を高めるため、「ボランティア論」を「1春」から「1秋」に変更
- ・教育内容の充実を図るため、「マレー語」「インドネシア語」「グローバルスタディⅣ」を科目追加。

【令和3年度】

- 教育内容の充実を図るため、「英語基礎」の兼任教員を追加
- 教育内容の充実を図るため、「リーディング1」の兼任教員を追加
- 教育内容の充実を図るため、「ライティング1」の兼任教員を追加
- 教育内容の充実を図るため、「オーラル・コミュニケーション1」の兼任教員を追加
- 教育間調整のため、「英語基礎2」を兼任教員に変更
- 教育間調整のため、「ライティング2」を兼任教員に変更
- 教育間調整のため、「オーラル・コミュニケーション2」を兼任教員に変更
- 教育内容の充実を図るため、「英語総合1」の兼任教員を追加
- 教育内容の充実を図るため、「リーディング総合1」の兼任教員を追加
- 教育内容の充実を図るため、「ライティング総合1」の兼任教員を追加
- 教育内容の充実を図るため、「アドバンスト・コミュニケーション1」の教員を追加
- 教育内容の充実を図るため、「英語総合2」の兼任教員を追加
- 教育間調整のため、「リーディング総合2」を兼任教員に変更
- 教育内容の充実を図るため、「ライティング総合2」の教員を追加
- 教育間調整のため、「アドバンスト・コミュニケーション2」を兼任教員に変更
- 教育間調整のため、「アカデミック英語」を兼任教員に変更
- 教育内容の充実を図るため、「総合英語Ⅱ」の兼任教員を追加
- 教育間調整のため、「英語総合Ⅲ」を兼任教員に変更
- 教育間調整のため、「英語総合Ⅲ」を兼任教員に変更
- 教育内容の充実を図るため、「課題研究(グローバルリサーチ)」の兼任教員を追加
- カリキュラムの見直しにより「教育社会学」を3春に変更
- カリキュラムの見直しにより「総合的な学習の時間の指導法」を3春に変更
- 教育内容の充実を図るため、「評価と実践Ⅰ」の担当者数を増
- 教育間調整のため、「評価と実践Ⅱ」の担当社を変更
- 担当教員の昇格により、「中国語Ⅰ・Ⅱ」の担当配置を変更
- 教育内容の充実を図るため、「日本語ライティングⅠ」に専任教員に変更
- 教育内容の充実を図るため、「ビジネス日本語Ⅰ」に教員を追加
- 教育内容の充実を図るため、「専門日本語Ⅰ」に教員を追加
- 教育内容の充実を図るため、「ICTリテラシー」に教員を追加
- 教育内容の充実を図るため、「地域研究(北米圏)」を専任教員に変更
- 教育内容の充実を図るため、「地域研究(アジア圏)」を専任教員に変更
- 教育間調整のため、「災害と安全」の担当者を兼任教員に変更

- (注) ・ 2(1)ー① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
25 科目	118 科目	12 科目	155 科目	25 科目 [-]	132 科目 [14]	12 科目 [-]	169 科目 [14]	

(注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1	通訳入門	2	2春	専門	選択	兼任教員辞任による。担当教員が見つかり次第、開講時期をずらして開講する予定
2	英語科教育法Ⅱ	2	3春	専門	選択	隔年開講による。
3	マレー語	1	2春	一般	選択	担当教員が見つかり次第、開講する予定

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

通訳入門については、早急に担当教員を探し、教員が見つかった時点で開講する予定にしている。英語科教育法Ⅱについては隔年開講としている。学生に対しては、ガイダンス等における案内の他、WEB上の履修システムと、コロナ対応のため電話やメールにて案内を行なっている。

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目(3)と廃止科目(4)の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計(A)}} = \frac{4}{155} = \boxed{2.58}\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3)未開講科目」と「(4)廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考		
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計	神戸山手大学現代社会学部設置者変更による増(令2) 財産目録との整合させるための修正(令2) 尼崎キャンパス運動場の売却による(令3) 運動用地は校舎敷地と別地(徒歩20分)		
	校舎敷地	34,542 m ² 9,150.6m²	0 m ²	0 m ²	34,542 m ² 9,150.6m²			
	運動場用地	37,019 m ² 38,913 m ² 48,543.3m²	33,820 m ² 0 m ²	0 m ²	70,839 m ² 72,733 m ² 48,543.3m²			
	小 計	71,561 m ² 73,455 m ² 57,693.8m²	33,820 m ² 0 m ²	0 m ²	105,381 m ² 107,275 m ² 57,693.8m²			
	そ の 他	23,769 m ² 25,068.5m²	0 m ²	0 m ²	23,769 m ² 25,068.5m²			
	合 計	95,330 m ² 97,224 m ² 82,762.3m²	33,820 m ² 0 m ²	0 m ²	129,150 m ² 131,044 m ² 82,762.3m²			
(2) 校 舎	専 用	56,099 m ² 31,536.95 m ² (56,099 m ²) (31,536.95 m²)	0 m ²	0 m ²	56,099 m ² 31,536.95 m ² (56,099 m ²) (31,536.95 m²)	神戸山手大学現代社会学部設置者変更による増(令2)		
	共 用	(0 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)	(0 m ²)			
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	語学学習施設は情報処理学習施設と併用		
	87 室	71 室	15 室	6 室 (補助職員 8 人)	0 室 (補助職員 0 人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数		平成31年4月専任教授2名を新規採用のため(令)令和2年4月専任教授2名を新規採用のため(令2)令和3年4月専任教員の異動及び採用のため(令3)		
	経営学部 経営学科			20 18 16 14 室				
(5) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書 〔うち外国書〕 冊	学術雑誌 〔うち外国書〕 種	電子ジャーナル 〔うち外国書〕	視聴覚資料 点	機械・器具 点	標 本 点	大学全体の数
	大学全体	308,000(20,630) 284,101(20,511)	3,000(270) 2,813(266)	3,429 [1883]	8,203	6,520 (5,734)	51 (51)	
	計	308,000(20,630) 284,101(20,511)	3,000(270) 2,813(266)	3,429 [1883]	8,203	6,520 (5,734)	51 (51)	
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			
	15,156 m ²		719席		334,053冊			
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要					
	3115 m ²		テニスコート5面		フットサルコート1面			
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度
		教員1人当り研究費等	261千円	261千円	図書購入費	23,271千円	23,271千円	23,271千円
	共同研究費等	7,120千円	7,120千円	設備購入費	34,281千円	34,281千円	34,281千円	
	学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	
		1,459千円	1,159千円	1,159千円	1,159千円	千円	千円	
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入、法人内資産移動などを運営費に充当する。						

(注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)

- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には令和3年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(2)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
- ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。
- ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4. 既設大学等の状況

大学の名称	関西国際大学						学生募集停止学科数	4	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度		
心理学部						1.1	1.08				
経営学科	4	-	-	-	学士(経営学)	-	-		平成23年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	令和3年4月名称変更 平成31年4月募集停止
心理学科	4	125	0	500	学士(行動科学)	1.08	1.08		平成19年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	令和3年4月名称変更
教育学部						1	0.72				
教育福祉学科	4	150	0	600	学士(教育福祉学)	0.99	0.72		平成19年	兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号	
英語コミュニケーション学科	4	-	-	-	学士(英語学)	-	-		平成19年		平成31年4月募集停止
経営学部											
経営学科	4	175	3年次20	740	学士(経営学)	1.11	1.13	令和3年	平成31年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	令和3年4月定員増
国際コミュニケーション学部						0.95	0.74				
英語コミュニケーション学科	4	75	0	300	学士(英語学)	0.96	0.79	令和3年	平成31年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	
観光学科	4	80	-	320	学士(観光学)	0.7	0.7		令和3年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	
保健医療学部						1.04	0.98				
看護学科	4	100	0	400	学士(看護学)	1.04	0.98	令和2年	平成25年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	令和2年4月定員増
現代社会学部						-	-				
観光学科	4	-	-	-		-	-				令和2年4月設置者変更 令和3年4月学生募集停止
総合社会学科	4	-	-	-		-	-				令和2年4月設置者変更 令和3年4月学生募集停止
社会学部						0.79	0.79				
社会学科	4	100	-	400	学士(学術)	0.79	0.79		令和3年	兵庫県神戸市中央区諏訪山町3番1号	
大学全体	-	805	30	3260		1.04	0.91		-		
大学の名称	関西国際大学大学ウイン						学生募集停止学科数	0	平均入学定員超過率1.3倍以上の学科等数	0	備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	平均入学定員超過率	令和3年度入学定員超過率	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	
	年	人	年次人	人		倍	倍				
人間行動学研究科						0.8	0.94		平成17年		
人間行動学専攻	2	8	-	16	修士(人間行動学)	0.52	0.63		平成17年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	
臨床教育学専攻	2	8	-	16	修士(臨床教育学)	1.09	1.25		平成26年	兵庫県尼崎市潮江1丁目3番23号	
看護学研究科											
看護学専攻											
博士前期	2	6	-	12	修士(看護学)	0.37	0.17		平成27年	兵庫県三木市志染町青山1丁目18番	
博士後期	3	2	-	6	博士(看護学)	1.25	1		令和2年		
大学院全体	-	24	-	50		0.69	0.67				

- (注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者が既に設置している全ての大学(大学院含む)、短期大学及び高等専門学校についてそれぞれの学校ごとに、報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。
 (専攻科及び別科を除く)。なお、調査対象の学科等が設置されている大学から順に記載してください。
 ・学部の学科または研究科の専攻等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 ・本年度AC対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 ・「平均入学定員超過率」には、報告年度(令和3年度)から起算した修業年限に相当する期間の入学定員超過率の平均を記載してください。
 ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。

5 教員組織の状況

<国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科>

(1) -① 担当教員表

【認可時又は届出時】		【令和元年度】		【令和2年度】		【令和3年度】	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名	担当授業科目名
			渡邊 頼純 65 <平成31年4月> 修士(国際学)	渡邊 頼純 66 <平成31年4月> 修士(国際学)	渡邊 頼純 67 <平成31年4月> 修士(国際学)		
			教授(学部長) グローバル事情 国際関係 国際通商法 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習	教授(学部長) グローバル事情 国際関係 国際通商法 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 人間学Ⅱ	教授(学部長) グローバル事情 国際関係 国際通商法 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 専門演習Ⅰ 課題研究(グローバルリサーチ)		
		片山(河内山)真理 54 <平成31年4月> 修士(文学)	片山(河内山)真理 54 <平成31年4月> 修士(文学)	片山(河内山)真理 55 <平成31年4月> 修士(文学)	片山(河内山)真理 56 <平成31年4月> 修士(文学)		
専	教授	英語基礎Ⅰ サビ・スラニングⅠ インターシップⅢ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高) 児童英語 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅱ	サビ・スラニングⅠ インターシップⅠ インターシップⅡ インターシップⅢ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高) 児童英語 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 評価と実践Ⅰ 学習技術	サビ・スラニングⅠ インターシップⅠ インターシップⅡ インターシップⅢ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高) 児童英語 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 評価と実践Ⅰ 学習技術 課題研究(グローバルリサーチ)	英語基礎Ⅰ インターシップⅠ インターシップⅡ インターシップⅢ 英語科教育法Ⅱ 英語科教育法Ⅲ 教育実習Ⅰ 教育実習Ⅱ 教職実践演習(中・高) 児童英語 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 卒業研究 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 学習技術		
		有本 純 66 <平成31年4月> 修士(文学)	有本 純 66 <平成31年4月> 修士(文学)	有本 純 67 <平成31年4月> 修士(文学)	有本 純 68 <平成31年4月> 修士(文学)		
専	教授	英語音声学 英語学Ⅰ 英語学Ⅱ 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅳ 英文法研究 英語発音クリニック 専門演習Ⅲ 卒業研究	アカデミック英語 英語音声学 英語学Ⅰ 英語学Ⅱ 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅳ 英文法研究 英語発音クリニック 専門演習Ⅲ 卒業研究 評価と実践Ⅱ	アカデミック英語 英語音声学 英語学Ⅰ 英語学Ⅱ 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅳ 英文法研究 英語発音クリニック 専門演習Ⅲ 卒業研究 評価と実践Ⅱ リディング総合2	アカデミック英語 英語音声学 英語学Ⅰ 英語学Ⅱ 英語科教育法Ⅰ 英語科教育法Ⅳ 英文法研究 英語発音クリニック 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅲ 卒業研究 評価と実践Ⅱ 課題研究(グローバルリサーチ)		
		越山 泰子 59 <平成31年4月> Ph. D in Education(米国)	越山 泰子 59 <平成31年4月> Ph. D in Education(米国)	越山 泰子 60 <平成31年4月> Ph. D in Education(米国)	越山 泰子 60 <平成31年4月> Ph. D in Education(米国)		
専	教授(学部長)	課題研究(グローバルリサーチ) サビ・スラニングⅡ インターシップⅠ インターシップⅡ 日本語コミュニケーション 日本語教授法 日本語教育の実践と評価 専門演習Ⅰ 卒業研究 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 アカデミック日本語Ⅰ アカデミック日本語Ⅱ 日本事情	課題研究(グローバルリサーチ) サビ・スラニングⅡ インターシップⅠ インターシップⅡ 日本語コミュニケーション 日本語教授法 日本語教育の実践と評価 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 アカデミック日本語Ⅰ アカデミック日本語Ⅱ	課題研究(グローバルリサーチ) サビ・スラニングⅡ インターシップⅠ インターシップⅡ 日本語コミュニケーション 日本語教授法 日本語教育の実践と評価 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 アカデミック日本語Ⅰ アカデミック日本語Ⅱ	課題研究(グローバルリサーチ) サビ・スラニングⅡ インターシップⅠ インターシップⅡ 日本語コミュニケーション 日本語教授法 日本語教育の実践と評価 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 アカデミック日本語Ⅰ アカデミック日本語Ⅱ		
		Jonathan Aliponga 48 <平成31年4月> 博士(文学)(フィリピン)			Jonathan Aliponga 50 <令和3年4月> 博士(文学)(フィリピン)		
専	教授	ライティング総合1 リーディング総合2 アドバンスト・コミュニケーション2 アカデミック英語 課題研究(グローバルリサーチ) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅲ 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 グローバル事情			ライティング総合1 リーディング総合2 アドバンスト・コミュニケーション2 アカデミック英語 課題研究(グローバルリサーチ) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅲ 評価と実践Ⅰ 初年次セミナー 基礎演習 グローバル事情		

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	清水 拓野 47 <平成31年4月> 博士(学術)
		7ｼﾞｱ研究 言語と文化 文化人類学 日本のホｯﾌﾟｶﾙﾁｬｰ 専門演習Ⅲ 卒業研究 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ 地域研究(7ｼﾞｱ圏)
専	准教授	J. Paul Marlowe 40 <平成31年4月> 博士(教育学)(米国)
		ライティング1 オーラル・コミュニケーション1 ライティング2 ライティング2 オーラル・コミュニケーション2 英語総合1 ライティング総合1 アドバンスト・コミュニケーション1 専門演習Ⅱ
専	准教授	横山 雅彦 54 <平成31年4月> 修士(国際学)
		総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ インテンｼﾌﾞｲﾝｸﾞﾘｯｼﾞⅠ インテンｼﾌﾞｲﾝｸﾞﾘｯｼﾞⅡ インテンｼﾌﾞｲﾝｸﾞﾘｯｼﾞⅢ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	百済 正和 51 <平成31年4月> 修士(英語教育学)
		オーラル・コミュニケーション1 オーラル・コミュニケーション2 言語学概論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅰ 学習技術
専	教授	Patric Shorb 47 <平成31年4月> 博士(東ｱｼﾞｱ学)(米国)
		ライティング総合1 ライティング総合2 課題研究(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ) 専門演習Ⅲ 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 初年次ﾾﾐﾅｰ 基礎演習
専	准教授	清水 拓野 47 <平成31年4月> 博士(学術)
		7ｼﾞｱ研究 言語と文化 文化人類学 日本のホｯﾌﾟｶﾙﾁｬｰ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅰ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ICTリテラシー 課題研究Ⅰ
専	准教授	J. Paul Marlowe 40 <平成31年4月> 博士(教育学)(米国)
		英語総合1 ライティング総合1 ライティング総合1 アドバンスト・コミュニケーション1 英語総合2 ライティング総合2 ライティング総合2 ライティング総合2 アドバンスト・コミュニケーション2 卒業研究 評価と実践Ⅱ
専	准教授	横山 雅彦 54 <平成31年4月> 修士(国際学)
		英語基礎1 英語基礎2 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ インテンｼﾌﾞｲﾝｸﾞﾘｯｼﾞⅠ インテンｼﾌﾞｲﾝｸﾞﾘｯｼﾞⅡ インテンｼﾌﾞｲﾝｸﾞﾘｯｼﾞⅢ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	百済 正和 52 <平成31年4月> 修士(英語教育学)
		オーラル・コミュニケーション1 オーラル・コミュニケーション2 言語学概論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅰ 学習技術 特別研究Ⅰ
専	教授	Patric Shorb 48 <平成31年4月> 博士(東ｱｼﾞｱ学)(米国)
		ライティング総合1 ライティング総合2 課題研究(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ) 専門演習Ⅲ 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 初年次ﾾﾐﾅｰ 基礎演習 英語総合1
専	准教授	清水 拓野 48 <平成31年4月> 博士(学術)
		7ｼﾞｱ研究 言語と文化 文化人類学 日本のホｯﾌﾟｶﾙﾁｬｰ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅰ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ICTリテラシー 課題研究Ⅰ 課題研究(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ)
専	准教授	J. Paul Marlowe 41 <平成31年4月> 博士(教育学)(米国)
		英語総合1 ライティング総合1 ライティング総合1 アドバンスト・コミュニケーション1 英語総合2 ライティング総合2 ライティング総合2 ライティング総合2 アドバンスト・コミュニケーション2 卒業研究 評価と実践Ⅱ
専	准教授	横山 雅彦 55 <平成31年4月> 修士(国際学)
		英語基礎1 英語基礎2 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ インテンｼﾌﾞｲﾝｸﾞﾘｯｼﾞⅠ インテンｼﾌﾞｲﾝｸﾞﾘｯｼﾞⅡ インテンｼﾌﾞｲﾝｸﾞﾘｯｼﾞⅢ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅱ サービｽﾗｰﾈﾝｸﾞⅠ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	教授	百済 正和 53 <平成31年4月> 修士(英語教育学)
		ライティングⅠ ライティングⅡ オーラル・コミュニケーション1 オーラル・コミュニケーション2 言語学概論 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 専門演習Ⅲ 評価と実践Ⅰ 基礎演習 学習技術 特別研究Ⅰ 課題研究(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ)
専	教授	Patric Shorb 49 <平成31年4月> 博士(東ｱｼﾞｱ学)(米国)
		ライティング総合1 ライティング総合2 課題研究(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ) 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅲ 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 初年次ﾾﾐﾅｰ 基礎演習 英語総合1 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ
専	准教授	清水 拓野 49 <平成31年4月> 博士(学術)
		7ｼﾞｱ研究 言語と文化 文化人類学 日本のホｯﾌﾟｶﾙﾁｬｰ 専門演習Ⅰ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅰ 評価と実践Ⅱ 中国語Ⅰ 中国語Ⅱ ICTリテラシー 地域研究(ｱｼﾞｱ圏) 課題研究Ⅰ 課題研究(ｸﾞﾛｰﾊﾞﾙﾘｻｰﾁ)
専	准教授	
専	准教授	横山 雅彦 56 <平成31年4月> 修士(国際学)
		英語基礎1 英語基礎2 総合英語Ⅰ 総合英語Ⅱ 総合英語Ⅲ 総合英語Ⅳ インテンｼﾌﾞｲﾝｸﾞﾘｯｼﾞⅠ インテンｼﾌﾞｲﾝｸﾞﾘｯｼﾞⅡ インテンｼﾌﾞｲﾝｸﾞﾘｯｼﾞⅢ 専門演習Ⅱ 評価と実践Ⅱ サービｽﾗｰﾈﾝｸﾞⅠ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 創 41 <平成31年4月> 博士(言語文化学)
		英語基礎2 言語学概論 日本語の構造 I 日本語の構造 II 日本語教育事情 専門演習 II 評価と実践 II 日本語 V 日本語ライティング II 日本事情 課題研究 I 課題研究 II 課題研究 III 課題研究 IV
専	講師	井上 加寿子 38 <平成31年4月> 博士(言語文化学)
		リーディング I 仕事とキャリア形成 I 仕事とキャリア形成 II 学習技術 ICTリテラシー
兼任	教授(学長)	濱名 篤 (62) <平成31年4月> 博士(社会学)
		人間学 I ※
兼任	教授(副学長)	山下 泰生 (59) <平成31年4月> 理学士
		情報と社会
兼任	教授	浅野 考平 (67) <平成31年4月> 博士(理学)
		人間学 II ※
兼任	教授	濱名 陽子 (63) <平成31年4月> 教育学修士
		教育学概論 教育社会学 教育と人間形成 人間学 I ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 創 41 <平成31年4月> 博士(言語文化学)
		日本語の構造 I 日本語の構造 II 日本語教育事情 専門演習 III 卒業研究 評価と実践 II 日本語ライティング II 日本事情 課題研究 II 課題研究 III 課題研究 IV
兼任	教授(学長)	濱名 篤 (62) <平成31年4月> 博士(社会学)
		人間学 I ※
兼任	教授(副学長)	山下 泰生 (59) <平成31年4月> 理学士
		情報と社会
兼任	教授	浅野 考平 (67) <平成31年4月> 博士(理学)
		人間学 II ※
兼任	教授	濱名 陽子 (63) <平成31年4月> 教育学修士
		教育学概論 教育社会学 教育と人間形成 人間学 I ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 創 42 <平成31年4月> 博士(言語文化学)
		日本語の構造 I 日本語の構造 II 日本語教育事情 専門演習 III 卒業研究 評価と実践 I 評価と実践 II 学習技術 日本語ライティング I 日本語ライティング II 日本事情 課題研究 II 課題研究 III 課題研究 IV 専門演習 I 課題研究(グローバルリサーチ)
兼任	教授(学長)	濱名 篤 (63) <平成31年4月> 博士(社会学)
		人間学 I ※
兼任	教授	浅野 考平 (68) <平成31年4月> 博士(理学)
		人間学 II ※
兼任	教授	濱名 陽子 (64) <平成31年4月> 教育学修士
		教育学概論 教育社会学 人間学 I ※

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	准教授	伊藤 創 43 <平成31年4月> 博士(言語文化学)
		日本語の構造 I 日本語の構造 II 日本語教育事情 専門演習 I 専門演習 III 卒業研究 ICTリテラシー 評価と実践 I 評価と実践 II 学習技術 ビジネス日本語 I 専門日本語 I 日本語ライティング I 日本語ライティング II 日本事情 課題研究 II 課題研究 III 課題研究 IV 専門演習 I 課題研究(グローバルリサーチ)
専	教授	遠藤 泰生 (65) <令和3年4月> 文学修士
		アドバンスド・コミュニケーション 1 英語総合 2 ライティング 総合 2 専門演習 I 評価と実践 I 初年次セミナー 基礎演習 地域研究(北米圏)
兼任	教授(学長)	濱名 篤 (64) <平成31年4月> 博士(社会学)
		人間学 I ※
兼任	教授	浅野 考平 (69) <平成31年4月> 博士(理学)
		人間学 II ※
兼任	教授	濱名 陽子 (65) <平成31年4月> 教育学修士
		人間学 I ※
兼任	教授	飯嶋 香織 (62) <令和3年4月> 教育学修士
		教育と人間形成

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	上村 和美 (63) <平成32年4月> 博士(言語文化学)
		日本文化論
兼任	教授	肖 威 (54) <平成31年4月> 博士(経営学)
		経営学概論
兼任	教授	川脇 康生 (59) <平成31年4月> 修士(経済学) 博士(国際公共政策)
		人間学Ⅱ※ グローバルスタンダードⅠ グローバルスタンダードⅡ グローバルスタンダードⅢ
兼任	教授	太田 裕彦 64 <平成31年4月> 学術博士
		災害と安全
兼任	教授	浮田 泉 (58) <平成31年4月> 修士(経営学) 修士(経済学)
		ファイナンス
兼任	教授	村田 昌彦 (62) <平成31年4月> 工学士
		地域防災減災論 特別研究Ⅰ 特別研究Ⅱ 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ
兼任	教授	川村 光 (48) <平成31年4月> 修士(教育学) 博士(人間科学)
		ボランティア実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	肖 威 (54) <平成31年4月> 博士(経営学)
		アジアマーケティング論 ビジネス統計学 国際経営論
兼任	教授	古田 龍輔 (67) <平成31年4月> 博士(経営学)
		経営学概論
兼任	教授	川脇 康生 (59) <平成31年4月> 修士(経済学) 博士(国際公共政策)
		人間学Ⅱ※ グローバルスタンダードⅠ グローバルスタンダードⅡ グローバルスタンダードⅢ
兼任	教授	太田 裕彦 64 <平成31年4月> 学術博士
		災害と安全
兼任	教授	浮田 泉 (58) <平成31年4月> 修士(経営学) 修士(経済学)
		ファイナンス
兼任	教授	村田 昌彦 (62) <平成31年4月> 工学士
		地域防災減災論
兼任	教授	川村 光 (48) <平成31年4月> 修士(教育学) 博士(人間科学)
		ボランティア実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	肖 威 (54) <平成31年4月> 博士(経営学)
		アジアマーケティング論 国際経営論
兼任	教授	古田 龍輔 (67) <平成31年4月> 博士(経営学)
		経営学概論
兼任	教授	川脇 康生 (60) <平成31年4月> 修士(経済学) 博士(国際公共政策)
		人間学Ⅱ※ グローバルスタンダードⅠ グローバルスタンダードⅡ グローバルスタンダードⅢ
兼任	教授	太田 裕彦 65 <平成31年4月> 学術博士
		災害と安全
兼任	教授	浮田 泉 (58) <平成31年4月> 修士(経営学) 修士(経済学)
		ファイナンス
兼任	教授	村田 昌彦 (63) <平成31年4月> 工学士
		地域防災減災論
兼任	教授	川村 光 (48) <平成31年4月> 修士(教育学) 博士(人間科学)
		ボランティア実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	佐藤 広志 (56) <令和3年4月> 教育学修士
		教育社会学
兼任	教授	肖 威 (58) <平成31年4月> 博士(経営学)
		国際経営論
兼任	教授	堀上 明 (57) <令和3年4月> 博士(経営学)
		経営学概論
兼任	教授	川脇 康生 (61) <平成31年4月> 修士(経済学) 博士(国際公共政策)
		グローバルスタンダードⅠ グローバルスタンダードⅡ グローバルスタンダードⅢ
兼任	教授	太田 裕彦 66 <平成31年4月> 学術博士
		災害と安全
兼任	教授	浮田 泉 (59) <平成31年4月> 修士(経営学) 修士(経済学)
		ファイナンス
兼任	教授	村田 昌彦 (64) <平成31年4月> 工学士
		地域防災減災論
兼任	教授	川村 光 (48) <平成31年4月> 修士(教育学) 博士(人間科学)
		ボランティア実習

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	花熊 暁 (68) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)
		特別支援教育基礎
兼任	教授	吉村 啓子 (61) 〈平成31年4月〉 博士(心理学)
		教育心理学 発達心理学
兼任	准教授	百瀬 和夫 (65) 〈平成31年4月〉 学士(教育学)
		学校経営論 生徒・進路指導論
兼任	准教授	横川 滋章 50 〈平成31年4月〉 修士(心理学)
		災害と安全

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	花熊 暁 (68) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)
		特別支援教育基礎
兼任	教授	吉村 啓子 (61) 〈平成31年4月〉 博士(心理学)
		教育心理学 発達心理学
兼任	教授	吹春 俊隆 (69) 〈平成31年4月〉 修士(経済学)
		経済学概論 国際経済論
兼任	教授	李 容淑 (61) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)
		インパクト・ツーリズム産業論
兼任	教授	陳 那森 (55) 〈平成31年4月〉 修士(理学) 博士(工学)
		データサイエンス
兼任	准教授	山本 秀樹 (50) 〈平成31年4月〉 修士(社会学)
		社会学概論
兼任	准教授	横川 滋章 50 〈平成31年4月〉 修士(心理学)
		災害と安全 特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	吉村 啓子 (61) 〈平成31年4月〉 博士(心理学)
		教育心理学 発達心理学
兼任	教授	李 容淑 (62) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)
		インパクト・ツーリズム産業論
兼任	教授	陳 那森 (56) 〈平成31年4月〉 修士(理学) 博士(工学)
		データサイエンス
兼任	准教授	山本 秀樹 (50) 〈平成31年4月〉 修士(社会学)
		社会学概論
兼任	准教授	横川 滋章 51 〈平成31年4月〉 修士(心理学)
		災害と安全 特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	田中 亜裕子 (50) 〈令和3年月〉 修士(心理学)
		教育心理学 発達心理学
兼任	教授	李 容淑 (63) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)
		インパクト・ツーリズム産業論
兼任	教授	陳 那森 (57) 〈平成31年4月〉 修士(理学) 博士(工学)
		データサイエンス
兼任	教授	清水 美知子 (62) 〈平成31年4月〉 修士(社会学)
		社会学概論
兼任	准教授	横川 滋章 51 〈平成31年4月〉 修士(心理学)
		災害と安全 特別研究Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	谷口 一也 (39) 〈平成31年4月〉 博士(理学)
		人間学 I ※
兼任	准教授	吉田 武大 (46) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)
		教育制度論
兼任	講師	板山 昂 (33) 〈平成31年4月〉 博士(人間文化学)
		災害と安全 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ
兼任	講師	林 万平 (38) 〈平成31年4月〉 修士(国際公共政策) 博士(政策科学)
		経済学概論
兼任	講師	齋藤 勝洋 (48) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)
		マーケティング
兼任	講師	中島 康二 (48) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		リサーチ入門 ICT活用A
兼任	講師	松本 義行 (68) 〈平成31年4月〉 高等学校卒
		人間学 II ※
兼任	講師	坂上 雅翁 (66) 〈平成31年4月〉 修士(文学)
		比較宗教論
兼任	講師	中村みどり 〈平成31年4月〉 修士(人間・環境学)
		比較宗教論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	谷口 一也 (39) 〈平成31年4月〉 博士(理学)
		人間学 I ※
兼任	准教授	吉田 武大 (46) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)
		教育制度論
兼任	講師	板山 昂 (33) 〈平成31年4月〉 博士(人間文化学)
		災害と安全 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ
兼任	講師	林 万平 (38) 〈平成31年4月〉 修士(国際公共政策) 博士(政策科学)
		経済学概論 特別研究 I
兼任	講師	齋藤 勝洋 (48) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)
		マーケティング
兼任	講師	中島 康二 (48) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		リサーチ入門 ICT活用A
兼任	講師	松本 義行 (68) 〈平成31年4月〉 高等学校卒
		人間学 II ※
兼任	講師	中村みどり 〈平成31年4月〉 修士(人間・環境学)
		比較宗教論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	谷口 一也 (40) 〈平成31年4月〉 博士(理学)
		人間学 I ※
兼任	准教授	吉田 武大 (47) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)
		教育制度論
兼任	講師	板山 昂 (34) 〈平成31年4月〉 博士(人間文化学)
		災害と安全 特別研究Ⅲ 特別研究Ⅳ
兼任	講師	林 万平 (39) 〈平成31年4月〉 修士(国際公共政策) 博士(政策科学)
		経済学概論 特別研究 I
兼任	講師	齋藤 勝洋 (49) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)
		マーケティング
兼任	講師	中島 康二 (48) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		リサーチ入門 ICT活用A
兼任	講師	真鍋 公希 (27) 〈令和2年4月〉 修士(人間・環境学)
		リサーチ入門
兼任	講師	松本 義行 (69) 〈平成31年4月〉 高等学校卒
		人間学 II ※
兼任	講師	中村みどり 〈平成31年4月〉 修士(人間・環境学)
		比較宗教論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	准教授	吉田 武大 (47) 〈平成31年4月〉 修士(教育学)
		教育制度論
兼任	講師	林 万平 (38) 〈平成31年4月〉 修士(国際公共政策) 博士(政策科学)
		経済学概論
兼任	講師	齋藤 勝洋 (50) 〈平成31年4月〉 修士(経営学)
		マーケティング
兼任	講師	中島 康二 (49) 〈平成31年4月〉 博士(学術)
		教育方法論
兼任	講師	真鍋 公希 (28) 〈令和2年4月〉 修士(人間・環境学)
		リサーチ入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	進藤 正洋 (73) <平成32年4月> 学士(教育学)
		教職概論 教育方法論
兼任	講師	米田 薫 (62) <平成31年4月> 博士(臨床教育学)
		リーダーシップ 演習
兼任	講師	岸 孝明 (72) <平成33年4月> 文学士
		教育課程論
兼任	講師	岡本 義裕 (55) <平成33年4月> 修士(教育学)
		道德教育の指導法
兼任	講師	一尾 敏正 (63) <平成31年4月> 文学士
		ホスピタリティマネジメント 実務
兼任	講師	長谷川 鎌一 (73) <平成31年4月> 経営学士
		経済学基礎
兼任	講師	Richard Leckie (49) <平成31年4月> 修士(日本文学)
		日本研究 日本文学 通訳入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	進藤 正洋 (73) <平成31年4月> 学士(教育学)
		教育方法論
兼任	講師	米田 薫 (62) <平成31年4月> 博士(臨床教育学)
		リーダーシップ 演習
兼任	講師	岸 孝明 (72) <平成31年4月> 文学士
		教育課程論
兼任	講師	岡本 義裕 (55) <平成33年4月> 修士(教育学)
		道德教育の指導法 総合的な学習の時間の指導法
兼任	講師	一尾 敏正 (63) <平成31年4月> 文学士
		ホスピタリティマネジメント 実務
兼任	講師	長谷川 鎌一 (73) <平成31年4月> 経営学士
		経済学基礎
兼任	講師	Richard Leckie (49) <平成31年4月> 修士(日本文学)
		日本研究 日本文学 通訳入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	進藤 正洋 (74) <平成31年4月> 学士(教育学)
		教育方法論
兼任	講師	米田 薫 (63) <平成31年4月> 博士(臨床教育学)
		リーダーシップ 演習
兼任	講師	岸 孝明 (72) <平成31年4月> 文学士
		教育課程論
兼任	講師	一尾 敏正 (64) <平成31年4月> 文学士
		ホスピタリティマネジメント 実務
兼任	講師	長谷川 鎌一 (74) <平成31年4月> 経営学士
		経済学基礎
兼任	講師	Richard Leckie (50) <平成31年4月> 修士(日本文学)
		日本研究 日本文学 通訳入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	教授	行木 敬 (51) <令和3年4月> 博士(文学)
		比較宗教論
兼任	講師	鐘山泰弘 (66) <令和3年4月> 教育学修士
		教育課程論
兼任	講師	市谷敏 (71) <令和2年4月> 文学士
		実務
兼任	講師	Richard Leckie (51) <平成31年4月> 修士(日本文学)
		日本研究 日本文学 通訳入門

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	フィゴニー 啓子 (70) <平成31年4月> 修士(英語教授法)
		リーディング2 オーラル・コミュニケーション2 ライティング総合1 異文化理解
兼任	講師	Tina Ries (64) <平成31年4月> 修士(教育学)
		英語総合2 実践ビジネス英語 I 実践ビジネス英語 II ビジネスプレゼンテーション
兼任	講師	岡本 由紀子 (49) <平成31年4月> 修士(Medieval Studies)(英国)
		ライティング1 英語基礎2 ライティング総合2
兼任	講師	服部 聡 (51) <平成31年4月> 博士(政治学)
		国際関係 地域研究(北米圏)
兼任	講師	多田 智恵子 (66) <平成31年4月> 教育学修士
		教育相談

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	フィゴニー 啓子 (70) <平成31年4月> 修士(英語教授法)
		リーディング1 リーディング2 ライティング総合1 異文化理解
兼任	講師	Tina Ries (64) <平成31年4月> 修士(教育学)
		ライティング1 ライティング2 実践ビジネス英語 I 実践ビジネス英語 II ビジネスプレゼンテーション
兼任	講師	岡本 由紀子 (49) <平成31年4月> 修士(Medieval Studies)(英国)
		リーディング1 リーディング2
兼任	講師	服部 聡 (51) <平成31年4月> 博士(政治学)
		地域研究(北米圏)
兼任	講師	多田 智恵子 (66) <平成31年4月> 教育学修士
		教育相談

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	フィゴニー 啓子 (71) <平成31年4月> 修士(英語教授法)
		リーディング1 リーディング2 リーディング総合1 ライティング総合2 異文化理解
兼任	講師	越知昌賜
		実践ビジネス英語 I 実践ビジネス英語 II ビジネスプレゼンテーション
兼任	講師	岡本 由紀子 (50) <平成31年4月> 修士(Medieval Studies)(英国)
		リーディング1 英語基礎2
兼任	講師	George Schaaff (50) <令和2年4月> Master of science(日本)
		アドバンスト・コミュニケーション I ライティング1
兼任	講師	Michael Walker (67) <令和2年4月> Master of Arts(英国)
		オーラル・コミュニケーション1 ライティング2 アドバンスト・コミュニケーション2
兼任	講師	Abigail van Stryker (68) <令和2年4月> Master of Arts(豪)
		オーラル・コミュニケーション2 英語総合2 アカデミック英語
兼任	講師	服部 聡 (51) <平成31年4月> 博士(政治学)
		地域研究(北米圏)
兼任	講師	多田 智恵子 (67) <平成31年4月> 教育学修士
		教育相談

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	フィゴニー 啓子 (72) <平成31年4月> 修士(英語教授法)
		リーディング総合1 ライティング総合1 リーディング総合2 異文化理解
兼任	講師	越知昌賜
		実践ビジネス英語 I 実践ビジネス英語 II ビジネスプレゼンテーション ビジネスマーケティング論
兼任	講師	岡本 由紀子 (51) <平成31年4月> 修士(Medieval Studies)(英国)
		英語基礎1 英語基礎2 リーディング2 リーディング総合2 総合英語IV
兼任	講師	George Schaaff (51) <令和2年4月> Master of science(日本)
		オーラル・コミュニケーション2 英語総合1 アドバンスト・コミュニケーション I アドバンスト・コミュニケーション II 英語総合2
兼任	講師	Michael Walker (68) <令和2年4月> Master of Arts(英国)
		オーラル・コミュニケーション2 英語総合1 アドバンスト・コミュニケーション1 アドバンスト・コミュニケーション2 英語総合2
兼任	講師	Abigail van Stryker (68) <令和2年4月> Master of Arts(豪)
		オーラル・コミュニケーション1 ライティング2 アドバンスト・コミュニケーション1 ライティング総合2 アドバンスト・コミュニケーション2 アカデミック英語 サーリス事情 I サーリス事情 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	天野 義美 (72) 〈平成31年4月〉 文学士 総合的な学流の時間の指導法 特別活動の指導法
兼任	講師	小泉 園栄 (62) 〈平成31年4月〉 経営学士 航空実務 ツーリズム事情Ⅰ ツーリズム事情Ⅱ ツアーガイド実務
兼任	講師	伊 郁子 (53) 〈平成31年4月〉 修士(外国語教育学) 日本語Ⅰ ビジネス日本語Ⅰ ビジネス日本語Ⅱ 日本語ライティングⅠ 専門日本語Ⅰ 専門日本語Ⅱ 韓国・朝鮮語Ⅰ 韓国・朝鮮語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡田 忠義 (73) 〈平成31年4月〉 学士(教育学) 教職概論 学校経営論 特別活動の指導法 生徒・進路指導論
兼任	講師	小泉 園栄 (62) 〈平成31年4月〉 経営学士 航空実務 ツーリズム事情Ⅰ ツーリズム事情Ⅱ ツアーガイド実務
兼任	講師	伊 郁子 (53) 〈平成31年4月〉 修士(外国語教育学) 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ ビジネス日本語Ⅰ ビジネス日本語Ⅱ 日本語ライティングⅠ 日本語ライティングⅡ 専門日本語Ⅰ 専門日本語Ⅱ 韓国・朝鮮語Ⅰ 韓国・朝鮮語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	岡田 忠義 (74) 〈平成31年4月〉 学士(教育学) 教職概論 学校経営論 特別活動の指導法 生徒・進路指導論 道德教育の指導法 総合的な学習の時間の指導法
兼任	講師	小泉 園栄 (63) 〈平成31年4月〉 経営学士 航空実務 ツーリズム事情Ⅰ ツーリズム事情Ⅱ ツアーガイド実務
兼任	講師	伊 郁子 (54) 〈平成31年4月〉 修士(外国語教育学) 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ ビジネス日本語Ⅰ ビジネス日本語Ⅱ 日本語ライティングⅠ 日本語ライティングⅡ 専門日本語Ⅰ 専門日本語Ⅱ 韓国・朝鮮語Ⅰ 韓国・朝鮮語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) 〈就任(予定)年月〉 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	河合 篤史 (59) 〈令和3年4月〉 博士(学校教育学) 教育相談
兼任	講師	天野 義美 (74) 〈令和3年4月〉 文学士 特別活動の指導法
兼任	講師	常陸 則之 (66) 〈令和3年月〉 工学修士 総合的な学流の時間の指導法
兼任	講師	石井 豊彦 (64) 〈令和3年4月〉 文学士 教職概論 生徒・進路指導論
兼任	講師	平井正朗 (56) 〈令和3年4月〉 修士(文学) 学校経営論
兼任	講師	岡本義裕 (57) 〈令和3年月〉 修士(教育学) 道德教育の指導法
兼任	講師	小泉 園栄 (64) 〈平成31年4月〉 経営学士 航空実務 ツアーガイド実務
兼任	講師	伊 郁子 (55) 〈平成31年4月〉 修士(外国語教育学) 日本語Ⅰ 日本語Ⅱ ビジネス日本語Ⅰ ビジネス日本語Ⅱ 日本語ライティングⅠ 日本語ライティングⅡ 専門日本語Ⅰ 専門日本語Ⅱ 韓国・朝鮮語Ⅰ 韓国・朝鮮語Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	倉地 博美 (48) <平成31年4月> 修士(体育学)
		生涯ｽﾎｰﾙⅠ 生涯ｽﾎｰﾙⅡ
兼任	講師	岡本 託 (41) <平成31年4月> 博士(学術)
		近現代の歴史
兼任	講師	谷 圭佑 (27) <平成31年4月> 修士(政治学)
		国際社会と政治
兼任	講師	出嶋 陽介 (48) <平成31年4月> 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	今井 良一 (46) <平成31年4月> 博士(農学)
		環境と生活
兼任	講師	森本 誠一 (41) <平成31年4月> 博士(文学)
		生命と倫理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	倉地 博美 (48) <平成31年4月> 修士(体育学)
		生涯ｽﾎｰﾙⅠ 生涯ｽﾎｰﾙⅡ
兼任	講師	岡本 託 (41) <平成31年4月> 博士(学術)
		近現代の歴史
兼任	講師	谷 圭佑 (27) <平成31年4月> 修士(政治学)
		国際社会と政治
兼任	講師	出嶋 陽介 (48) <平成31年4月> 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	徳久 久美子 (53) <平成31年4月> 文学修士
		英米文学概論
兼任	講師	今井 良一 (46) <平成31年4月> 博士(農学)
		環境と生活
兼任	講師	森本 誠一 (41) <平成31年4月> 博士(文学)
		生命と倫理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	倉地 博美 (48) <平成31年4月> 修士(体育学)
		生涯ｽﾎｰﾙⅠ 生涯ｽﾎｰﾙⅡ
兼任	講師	岡本 託 (42) <平成31年4月> 博士(学術)
		近現代の歴史
兼任	講師	Bae Junsu (32) <令和2年4月> 修士(政治学)
		国際社会と政治
兼任	講師	出嶋 陽介 (49) <平成31年4月> 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	徳久 久美子 (54) <平成31年4月> 文学修士
		英米文学概論
兼任	講師	今井 良一 (47) <平成31年4月> 博士(農学)
		環境と生活
兼任	講師	森本 誠一 (42) <平成31年4月> 博士(文学)
		生命と倫理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	倉地 博美 (49) <平成31年4月> 修士(体育学)
		生涯ｽﾎｰﾙⅠ 生涯ｽﾎｰﾙⅡ
兼任	講師	岡本 託 (43) <平成31年4月> 博士(学術)
		近現代の歴史
兼任	講師	Bae Junsu (33) <令和2年4月> 修士(政治学)
		国際社会と政治
兼任	講師	出嶋 陽介 (50) <平成31年4月> 修士(法学)
		日本国憲法
兼任	講師	徳久 久美子 (55) <平成31年4月> 文学修士
		英米文学概論
兼任	講師	片山雅男 (65) <令和3年4月> 理学修士
		環境と生活
兼任	講師	加藤恵介 (62) <令和3年4月> 修士(文学)
		生命と倫理

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	浜野 孝 (71) ＜平成31年4月＞ 学士(社会学)
		ボランティア論
兼任	講師	中山 美佐子 (55) ＜平成31年4月＞ 准学士(保育)
		ビジネスナー 仕事とキャリア形成Ⅰ 仕事とキャリア形成Ⅱ
兼任	講師	志田 未来 (31) ＜平成31年4月＞ 修士(人間科学)
		社会階層と文化
兼任	講師	上仲 淳 (54) ＜平成31年4月＞ 博士(言語文化学)
		日本語Ⅳ 日本語Ⅴ
兼任	講師	酒詰 悠太 (38) ＜平成31年4月＞ 博士(人間・環境学)
		倫理と社会生活
兼任	講師	齋藤 修 (69) ＜平成31年4月＞ 法学博士
		人権と法
兼任	講師	大東 直樹 (28) ＜平成31年4月＞ 修士(国際学)
		地域研究(アジア圏)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	浜野 孝 (71) ＜平成31年4月＞ 学士(社会学)
		ボランティア論
兼任	講師	中山 美佐子 (55) ＜平成31年4月＞ 准学士(保育)
		ビジネスナー 仕事とキャリア形成Ⅰ 仕事とキャリア形成Ⅱ
兼任	講師	志田 未来 (31) ＜平成31年4月＞ 修士(人間科学)
		社会階層と文化
兼任	講師	前田 達郎 (53) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		日本語Ⅲ 日本語Ⅳ
兼任	講師	上仲 淳 (54) ＜平成31年4月＞ 博士(言語文化学)
		日本語Ⅴ
兼任	講師	酒詰 悠太 (38) ＜平成31年4月＞ 博士(人間・環境学)
		倫理と社会生活
兼任	講師	齋藤 修 (69) ＜平成31年4月＞ 法学博士
		人権と法
兼任	講師	大東 直樹 (28) ＜平成31年4月＞ 修士(国際学)
		地域研究(アジア圏)

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	浜野 孝 (72) ＜平成31年4月＞ 学士(社会学)
		ボランティア論
兼任	講師	中山 美佐子 (56) ＜平成31年4月＞ 准学士(保育)
		ビジネスナー 仕事とキャリア形成Ⅰ 仕事とキャリア形成Ⅱ
兼任	講師	山本晃輔 (38) ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)
		社会階層と文化
兼任	講師	前田 達郎 (54) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		日本語Ⅲ 日本語Ⅳ
兼任	講師	上仲 淳 (55) ＜平成31年4月＞ 博士(言語文化学)
		日本語Ⅴ
兼任	講師	酒詰 悠太 (39) ＜平成31年4月＞ 博士(人間・環境学)
		倫理と社会生活
兼任	講師	齋藤 修 (70) ＜平成31年4月＞ 法学博士
		人権と法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) ＜就任(予定)年月＞ 保有学位等
		担当授業科目名
兼任	講師	浜野 孝 (73) ＜平成31年4月＞ 学士(社会学)
		ボランティア論
兼任	講師	中山 美佐子 (57) ＜平成31年4月＞ 准学士(保育)
		ホスピタリティマネジメント ビジネスナー 仕事とキャリア形成Ⅰ 仕事とキャリア形成Ⅱ ホスピタリティマネジメント
兼任	講師	山本晃輔 (38) ＜令和2年4月＞ 修士(人間科学)
		社会階層と文化
兼任	講師	前田 達郎 (55) ＜平成31年4月＞ 博士(文学)
		日本語Ⅲ 日本語Ⅳ
兼任	講師	上仲 淳 (56) ＜平成31年4月＞ 博士(言語文化学)
		日本語Ⅳ 日本語Ⅴ
兼任	講師	酒詰 悠太 (40) ＜平成31年4月＞ 博士(人間・環境学)
		倫理と社会生活
兼任	講師	齋藤 謙一 (45) ＜令和3年4月＞ 修士(法学)
		人権と法

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
			兼任	講師	山中 美佳 (47) <平成31年4月> 修士(日本文学)	兼任	講師	山中 美佳 (48) <平成31年4月> 修士(日本文学)	兼任	講師	山中 美佳 (48) <平成31年4月> 修士(日本文学)
					日本文化論			日本文化論			日本文化論
			兼任	講師	橋本 堂史 (51) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	講師	橋本 堂史 (52) <平成31年4月> 博士(学術)	兼任	講師	橋本 堂史 (53) <平成31年4月> 博士(学術)
					食と健康			食と健康			食と健康

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引き」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実み)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(平成30年度開設であれば平成29年度)の表は適宜削除し、詰めてください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和元年度】

- ・平成31年4月渡邊頼純教授が学部長に就任。このため越山泰子教授が学科長に変更。
- ・Jonathan Aliponga教授の就任辞退による専任補充のため、平成31年4月百濟正和教授とPatric Shorb教授が就任。

【令和2年度】

特になし

【令和3年度】

- ・令和3年3月 J. Paul Marlowe 准教授が退任
- ・J. Paul Marlowe 准教授退任の補充並びに収容定員増に対する対応のため、令和3年4月 遠藤泰生教授、Jonathan Aliponga教授が就任。

- (注) ・ 変更内容を簡条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**AC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ 「専任教員採用等変更書（AC）」を提出し「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和元年度開設であれば平成30年度）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2) - ① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における 設置基準上の必要専 任教員数	うち、完成年度時に おける設置基準上の 必要教授数
8	4
名	名

(注) ・ 大学設置基準第十三条別表第一、短期大学設置基準第二十二條別表第一により算出される専任教員数を記入してください。

(2) - ② 専任教員等数【大学】

設置時の計画						現在（報告時）の状況					
教授	准教授	講師	助教	計 (A)	助手 (A')	教授	准教授	講師	助教	計 (B)	助手 (B')
4	4	1	0	9	0	11	1	0	0	11	0
(4)	(4)	(1)	(0)	(9)	0						
現在（報告時）の完成年度時の状況						現在（報告時）の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計 (C)	助手 (C')	教授	准教授	講師	助教	計 (D)	助手 (D')
10	1	0	0	11	0	10	1	0	0	11	0
[6]	[Δ3]	[Δ1]	[0]	[2]	[0]	[6]	[Δ3]	[Δ1]	[0]	[2]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の状況」には、報告年度の5月1日の教員数（実人数）を記入してください。
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の状況」には、「現在（報告時）の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）
 ・ 「現在（報告時）の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[] 内に設置時の計画との増減数を記入してください。（記入例：1名減の場合：Δ1）

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢（歳）	報告時（上記 (B)）の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時（上記 (C)）の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	2	2
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢（特例等による定年年齢ではありません）、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{11}{9} = \boxed{122.22} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在（報告時）の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在（報告時）の状況(B)}} = \frac{2}{11} = \boxed{18.18} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在（報告時）の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{0}{0} = \boxed{\#DIV/0!} \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	講師	井上 加寿子	H31.3	選択	リーディング1	②	H31.3教員組織調整による担当者の変更（元）			
				必修	仕事とキャリア形成 I	②				
				選択	仕事とキャリア形成 II	②				
				必修	学習技術	①				
				選択	ICTリテラシー	①				
合計（D）			後任補充状況の集計（E）							
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	2	科目	必修	1	科目	必修	0	科目
		選択	3	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	5	科目	計	2	科目	計	3	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
 ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
1	准教授	J. Paul Marlowe	R3.31	必修	英語総合1	①	R3.3.31自己都合退職（R3）			
				必修	リーディング総合1	①				
				必修	ライティング総合1	①				
				必修	アドバンス・コミュニケーション1	①				
				必修	英語総合2	①				
				必修	リーディング総合2	①				
				必修	ライティング総合2	①				
				必修	アドバンス・コミュニケーション2	①				
				必修	卒業研究	①				
必修	評価と実践II	①								
合計（F）			後任補充状況の集計（G）							
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
1	人	必修	10	科目	必修	10	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	10	科目	計	10	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・専任教員が担当する（している）場合は「①」
 ・兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」
 ・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3) - ③ 上記(3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計（D）+（F）			後任補充状況の集計（E）+（G）							
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）	②の合計数（b）	③の合計数（c）			
2	人	必修	12	科目	必修	11	科目	必修	1	科目
		選択	3	科目	選択	1	科目	選択	2	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	15	科目	計	12	科目	計	3	科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計(D)+(F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画(A)}} = \frac{2}{9} = 22.22\%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和2年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

1 人

- (注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

(3) -⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由	
		なし					
合計				後任補充状況の集計			
辞任した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)			①の合計数 (a)	②の合計数 (b)	③の合計数 (c)	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について記入してください。
 ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。
 ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する(している)場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する(している)場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

届出時の准教授1人が自己都合退職のため就任を辞任した。その補充のために、教授1人を補充した。そのほか、定員を増加させたことによる対応のため教授1人をさらに補充し、届出時よりも体制を強化している。教員の退職や補充についての学生への周知は、フレッシュマンウィークやフレクシオンデー、ゼミ、WEB等などで行っている。

- (注) ・ 上記(3)の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の の実施計画
届 出 時 (平成30年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和元年)	該当なし		
設置計画履行状況 調 査 時 (令和2年)	前年度の退学者の割合が16.07%（退学者：9人）と非常に高い状況になっているが、その退学理由を踏まえて、大学が講じている、もしくは講じる予定の方策について具体的に説明すること。また、大学側での在学学生に対する学修支援・生活支援策として、具体的にどのようなことを日常的におこなっているか併せて説明すること。	IRIによる調査の結果、退学者における入試種別に偏りがあったため、当該入試種別における試験方法（英語力の判別を行う）の見直しを行った。その結果令和2年度入学生においては、1人の退学となり改善が図られている。またこの状況を維持するために、退学理由に基づく各施策を継続的に実施し、三つのポリシーに基づいた運営の徹底を図っている。	履行済 引き続き入学試験における英語力の判別を行い、教育課程にあった学生の獲得を目指すとともに、退学防止の施策を継続的に実施する。
設置計画履行状況 調 査 時 (令和3年)	比較的高い割合で退学者が発生していることから、退学等の理由を踏まえた退学者等の減少のための効果的な取組を着実に実行すること。	指摘事項 (改善) IRIによる調査の結果、退学者における入試種別に偏りがあったため、当該入試種別における試験方法（英語力の判別を行う）の見直しを行った。その結果令和2年度入学生の退学率については大きく減少している。	履行済

(注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該年度の調査の結果、当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的に記入してください。その履行状況等の参考となる資料があれば、添付してください。

・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。

・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。

・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<国際コミュニケーション学部 英語コミュニケーション学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 修了要件単位数 126単位（必修科目54単位、選択必修科目52単位、 選択科目20単位）</p> <p>② 施設・設備 専任教員研究室 14室</p>	<p>① 学生の専門性をより高めるため、選択科目（1科目 2単位）を4科目追加（修了要件単位数は変更なし）。 （「様式2 授業科目の概要」(1)-①授業科目表を参照）</p> <p>② 専任教員数の増加により、16室に変更。</p>

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）
及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>高等教育研究開発センターの下に、教育開発部門と初年次教育部門が設置されている。各部門にはそれぞれ委員会が設置されており、そこで協議しつつ、教員の資質の維持向上のために取り組んでいる。また、FD及びSD活動はPDとして、教員の資質向上については教育開発委員会が、職員の資質向上については人財育成課が中心となり進めている。</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）</p> <p>・ 定例委員会を原則として毎月1回開催し、必要に応じて臨時委員会を開催している。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学位授与の方針及び教育課程編成の方針に基づいた教育の実施に際して必要な教育方法及び評価方法の開発と普及に関する事項 ・ 授業のアンケートに関する事項 ・ シラバスに関する事項 ・ ルーブリックに関する事項 ・ PD（FD及びSD）に関する事項 ・ 卒業研究登録資格認定試験に関する事項 <p>② 実施状況</p> <p>a 実施内容</p> <p>2021年度 3キャンパス新体制スタートのための教育活動アセスメント</p> <p>3回のPDを活用し、本学で収集した学習活動に関する種々のデータのほか、外部講師・参加学生等からのインプットを参照しながら、学科間・学科内・教員間など様々な単位でのディスカッションを行い、3キャンパス新体制がスタートする2021年4月に、①全学部・学科が本学の教育の特色を踏まえた教育プログラムを開始できるように適切に準備すること、同時に、②ポストコロナの教育プログラムの在り方についての理解を学内共有し、適宜現場実現するための準備を推進すること、を目指す。</p> <p>b 実施方法</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 全学PD（FD及びSD）におけるワークショップ、内部教員及び外部講師による研修等

8月20日 「科研費等外部資金獲得について」 愛知教育大学 後藤博明 氏
8月20日 「ポストコロナの教育・学習活動について」 桐蔭学園 理事長 溝上慎一 氏
9月17日 「教員によるゼミ生へのキャリアアドバイジング」 実践女子大学 学長補佐・教授 深澤晶久 氏
2月18日 「重要科目に焦点化したパフォーマンス評価による学習成果の可視化」 京都大学 高等教育研究開発推進センター
高等教育教授システム研究開発部門 教授 松下 佳代 氏

c 開催状況（教員の参加状況含む）

第1回PD 8月20日・21日
第2回PD 9月17日
第3回PD 2月18日・19日

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

神戸山手大学と合併し、3キャンパス体制となった初年度である。コロナ対応も含めて、本学の教育実施体制に対する課題について、学部・学科・教員間での共有は図られたと考えている。特に、コロナ禍における遠隔授業の方法について、ZOOMを用いた授業展開を迅速に行うことができた。遠隔授業における効果等について、アンケート調査等を行い、今後の遠隔授業の方法を検討している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

・各学期ごとに中間および期末の授業評価を実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

・授業評価アンケートは、結果を集計・分析し、教授会での報告と併せて学内ネットワークで教員や学生に公開している。

(注) ・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

該当なし

b 委員会の開催状況（回数や開催日など）

該当なし

c 委員会の審議事項等

該当なし

d その他

該当なし

② 審議状況

a 審議した内容

該当なし

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

該当なし

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

設置の趣旨に基づき、専門知と経験知の往還により実際の現場で必要となる能力の習得を行うため、教室外学修機会の充実、アクティブラーニングの教育方法を取り入れることを推進している。学生募集及び退学率については、学科設置時より留意し、更なる教育内容の充実や学生募集活動により安定した学科運営を目指していく。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

- ・令和3年7月1日 公表

b 公表方法

- ・自己点検・評価報告書を刊行
- ・大学ホームページ上に公開予定（令和3年7月を予定）

③ 認証評価を受ける計画

- ・令和4年度に評価機関（財団法人日本高等教育評価機構）の評価を受ける予定としている。

（注）・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和3年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

≪ aで「有」の場合≫

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

≪ aで公表「無」の場合≫

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。